

# (株) えふえむ草津 第64回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和3年5月26日(水) 18時30分～20時00分

2. 開催場所 草津アミカホール(文化教室1)

3. 委員の出欠 委員総数 6名 出席委員 6名

(出席委員) 岡本直輝 岩佐卓實 辻 信一  
松田泰子 森 健蔵 松浦正樹

(欠席委員) なし

(放送事業者側出席者) 青木 均(代表取締役)  
山本正雄(事務局)  
中辻睦規(事務局)

4. 議 題

(1) 近況報告

(2) 番組『第53回草津宿場まつり～特別生放送～』について

①スタジオ : SARI・山田智子・中嶋裕恵

②de 愛ひろば会場 : GINLALA・ノーサイン(滋賀県住みます芸人)

(3) 訂正または取消し放送の実施状況

(4) その他



## 5. 議事の概要

### (1) 近況報告

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、去年11月から番組審議会の開催を見合わせてきたが、新たな年度が始まり、また、番組審議委員の交代もあった事から、この度第64回番組審議会を開催した。

まず、審議会委員の方について、奥谷美津子さんが3月末をもって退任され、4月からは松浦正樹さんが着任された。

「番組企画会議」については、12月以降も毎月1回開催し、スタッフ間の情報共有と放送番組の質の向上を目指した議論を引き続き行っている。

今年度の番組表につきましては既に配布し、放送を行っている。

審議会の開催見合わせ中での報告として、年末年始以降の特別放送については、全て事前収録を行った音源で放送を実施し、年始の特別放送として「市長インタビュー」を行った。

その他、行った特別放送は以下の通り。

- ・「コロナ問題の生涯学習講座」をビデオ収録し1月25日に放送
- ・2月16日には、「生涯学習講座『家庭で育む子どもの自尊感情』講演会」を収録放送
- ・2月には、「本陣寄席」や「人権作文表彰式」といった収録放送

市内各地での事業展開や活動が自粛される中、今までと違ったジャンルでの番組制作も模索した。

次年度以降の事業展開を視野に、2月末より、吉本興業所属の滋賀県の住みます芸人「ノーサイン」による取材や、放送局の音源制作に興味がある学生に音源編集スタッフとして作業に従事して頂いている。

緊急割込み放送等を含む防災関係では、2月17日の午前11時から、Jアラート（全国瞬時警報システム）の試験放送を行った他、防災緊急割込み放送試験や現役消防士の声を聴く「ボイスオブファイアー」のコーナーも、毎月17日に放送を行っている。

2月11日には、県内のFM放送局6局で結成している「滋賀県防災ラジオ協議会」が共同で実施している防災番組「防災ラジオ滋賀2021～防災川柳スペシャル～」の放送を行った。

市庁舎屋上のアンテナ更新については、できるだけ速やかに近畿総合通信局との協議を終えるべく努め、1日も早く改修整備が終えられるよう、引き続き取り組んでいく。

## (2) 番組『第53回草津宿場まつり ～特別生放送～』について

4月25日に放送した特別番組『第53回草津宿場まつり ～特別生放送～』について、14分程度に編集した音源を聞いた上で審議に入った。

(放送事業者)

今年の宿場まつりは、コロナ渦での開催となったことから、例年実施されてきた時代行列や草津大市、町衆熱演舞台といった、人が集まる催しは中止されたが、草津跡地公園 de 愛ひろばをメイン会場に、コロナ対策を徹底の上、ストリートピアノや”大人も子どもも楽しめるアソビ空間”をテーマにしたブース出演などが行われた。

今回、三密を避けて自宅でもお祭りを楽しめる工夫として、えふえむ草津で特別番組を編成。会場からの中継も交え、祭りの様子をリスナーに届けた。

当日は9時から、スタジオよりイベント全体の説明などを行ったあと、メイン会場より実行委員長の挨拶や市長の挨拶、ステージで行われたストリートピアノ演奏の模様などを16時まで生放送した。

ストリートピアノのステージの司会は、草津ブースターズのGinLaLaのお二人。

レポーターとして、今年4月から滋賀県住みます芸人として活動している、吉本興業所属のお笑い芸人「ノーサイン」のお二人がそれぞれ出演した。

なお、当日の放送は、草津駅前デッキや草津川跡地公園 de 愛ひろばに設置したPA機材を通して、お聴き頂けるようにした他、草津宿本陣や街道交流館、草津まちづくり株式会社にラジオを設置し、街中でも放送を聴けるようにした。

(番組に対する審議委員からの主な意見)

○ラジオで祭りの臨場感を伝えられたのは良かった。

○テンポが良かった。ノーサインのインタビューも、相手の良さを引き出している。

○スタジオと中継現場との違いの演出は？

→(放送事業者)1時間毎にイベント会場とスタジオの音声を切り換えたが、その際にはアナウンスを行い、時報後に切り替えを行ってメリハリを付けて放送した。

○ストリートピアノはBGMとしても聴きやすく、番組の音質も良かった。

→(放送事業者)中継には、回線の確保が重要だが、最近光回線の品質が低下している。今回はISDNの臨時回線に対応し、安定した通信を確保することが出来たため、音声の品質も良かった。

○雨の場合の想定は？→(放送事業者)別会場での実施ができるよう手配をしていた。完全に中止となった場合でも、別番組への切り替えも想定済みであった。

### (3) 訂正または取消し放送の実施状況

特になし

### (4) その他

(審議委員からの意見)

○コロナ渦の中、観光ボランティアも街の案内が難しい状況だ。そんな中で「ぐるっとまち歩き～くさつ道中～」の番組は、草津の歴史や観光スポットなどを皆さんに紹介することが出来るので、良い番組だと思う。また、観光ボランティアガイド協会としても、コロナ禍で本陣の案内など活動が制限されている中で、新たな地域の魅力を発掘することができる機会となっている。

○町内会に入っていない市民は、町内会から広報を受けとることが出来ないなどの面で、情報格差が生じる可能性がある。防災面などを考えると大きな問題である。そのような方に対する情報面でのフォローを、ラジオが担っていく必要があるのではないかと。

○先日、NHK「のど自慢～おうちでパフォーマンス」で、パーソナリティの伊谷亜子さんが出演されている場面を拝見した。ラジオで声を聴いている人が、他のメディアで活躍している姿を見ると、こちらも嬉しい。精力的に活動している人を、もっと露出させていく事も、地域を盛り上げるのには良いのではないかと。

○かつて草津市は、住みやすさランキングで西日本でトップを取ったこともある。それを取り戻すような取り組みや番組を企画されるのも、良いのではないかと。

#### **【議事録の公表方法】**

- ①当社玄関カウンターに設置（6月7日～）
- ②当社ホームページへの掲載（6月7日～）
- ③番組「おはよう785」（6月15日と16日 8時～）の中で番組審議会の内容を放送